

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	(株) クレアメディコ	代表者	岡本 恒夫	法人・事業所の特徴	「医療・介護の原点はやさしさ」 上質な医療・介護を提供し、信頼され、選ばれる「さわやか苑」を目指し、地域医療・介護に貢献します。
事業所名	多機能ケアセンター さわやか苑 長倉	管理者	小林 正明		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	1人	1人	0人	1人	0人	3人	0人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	28年度1月月例会議にて自己評価、外部評価の勉強会をグループワーク方式にて実施。社会制度についての勉強会実施	・短い時間での勉強会や職員の入れ替えで自己評価の仕組みが理解できていない職員が多くなってしまった。	・勉強会の時間を多く増やし再度理解ができるように勉強会を増やしてほしい	・月例会議にて自己評価委員による勉強会を4月10月に開催する。 ・社会制度についての勉強会を8月に実施する。
B. 事業所のしつらえ・環境	27年12月以降の運営推進会議場をシルバーハウス長倉から多機能ケアセンター長倉に変更 地域の方やご利用者様へ苑を開放していることをチラシにてアナウンスする。 公開イベントの企画	・町内会にさわやか新聞を回覧していただいている。 ・さわやか新聞の内容を変え介護相談の受付をしていることをアナウンスしている。 ・コミセンを借りておむつ講習会、認知症サポーター養成講座を行い少しずつであるが地域の参加者が増えた	・町内会長に回覧板を作って頂いたものは集まりがよくこれからもお願いしたい。 ・曜日によって話せる日と話せない日がある。 ・防犯上施設時間は20:30～6:30 ・民生委員と連携したらいいと思う。	・町内会と連携し、さわやか新聞などを引き続き回覧して頂き、介護相談を行っていることをアナウンスしていく。 ・コミセンを春季は口腔ケア秋季(企画中)とお借りし講習会を開催して開かれた施設をアナウンスしていく。
C. 事業所と地域のかかわり	28年以降町内会との接点の機会を多く持つよう会議体への参加検討 OJTによる語先後礼の指導 地域へのアナウンスを行い相談施設としての周知していく 小学校や幼稚園などの連携を図り行事に参加していく	・町内会長と管理者との面談を行い町内での行事や苑での行事の情報のやり取りを行った。町内の会議には参加できていなかった。	・小学校や幼稚園に声掛けを行い行事に参加していくと良いと思います。 ・DS中沢は小学校の吹奏楽部が慰問に来ている。 ・地域の中学校でボランティア活動をしているので活用したら	・町内会と定期的に打ち合わせの機会を作り町内の情報を共有し苑の取り組みをアナウンスし介護相談を随時受け入れしていく。 ・小学校や幼稚園と交流の機会を持つためボランティア担当の方と企画を立案実施する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	28年度行事予定に地域のお祭りや学校行事への参加への計画立案 外出レクの機会を増やし日常的に散歩の機会を増やす。 利用者以外の心配な方についての情報を町内と共有していく。	・町内のお祭りに参加させていただいたが小学校や幼稚園に出向いて行くことがなかった。 ・町内に於ける心配な方に対する実践的な取り組みができなかった。	・小学校や幼稚園に出向けるようにレクの企画を作って欲しい。 ・心配な方について町内会や民生員と連携し体制を作って欲しい。 ・ご利用者様の地域の活動に地域的に区切って参加したらよいのでは	・町内会のお祭り(夏祭り、雪まつり)に参加する。 ・コミセンの行事に参加し出向いていく。 ・小学校や幼稚園の行事に参加する。 ・大きく地域を分け各方面のご利用者様の地域の行事に参加する。 ・各地域の民生委員と連携し連絡体制を作る。
E. 運営推進会議を活かした取組み	送迎時の見守り体制の見直し。 学校、地域体への協力体制の確認の実施 地域の心配な方について運営推進会議にて共有を図る	・送迎ルートにおいて町内を周り安いルートに変えたが運営推進会議にて情報共有など行っていないかった。	・運営推進会議にて送迎方法など実践的な内容を話し合うと良いと思う。 ・心配な方との情報共有の為民生委員様より運営推進会議に出席して頂いたらよいのでは	・送迎ルートを変更し長倉町内の巡視しやすいようにルート変更する。 ・長倉地区担当の民生委員に参加して頂き心配な方の情報を共有する。 ・苑より離れた場合の対応方法を検討し作成。
F. 事業所の防災・災害対策	28年度春季避難訓練を水害想定にて実施 町内会と連携し避難訓練を企画する 避難計画の見直しを行い避難訓練に地域の方に参加していただく。	・町内会長様と立会いの元、あおしの里コミセンを使用 し水害時の避難訓練を実施出来た。 ・町内会主催の避難訓練が参加できなかった。	・水害だけではなく他の災害を想定して行ったほうが良いと思う。 ・町内会の避難訓練に職員が参加した方が良いと思う。 ・避難開始は介護施設は避難準備情報で避難を開始する事になっているが柗吉川の避難準備情報は頻繁に出ているので見極めが難しい	・春季避難訓練にて地震想定での避難訓練を行い地域の方に参加していただく。 ・長倉地区の避難訓練に参加する。 ・水害の一時避難先は隣のシルバーハウスで行い二時避難先において町内の避難計画に組み込み市営アパートに避難先として棟長と連携する。